

令和 6 年度習志野市総合防災訓練（大地震想定）の実施方針（案）

1. 目的

令和 6 年能登半島地震を踏まえ、大地震想定による「災害時の行動や活動の習得」と、市民・市役所・関係機関の連携を理解する「自助・共助・公助の確認」及び住民と町会・自治会のコミュニケーションを図る中での「地域住民間の顔見知り以上の仲の構築」を目的として、市内の避難所となるすべての学校等を会場として設定し、避難所近傍の住民参加による避難生活のノウハウを周知する。

この際、災害を他人ごとではなく“自分ごと”として危機感を持つとともに、一人でも多くの市民が避難所に「来て・見て・触れる」ことができる体験型の訓練とする。

2. 日時

令和 6 年 1 1 月 2 4 日（日） 午前 9 時 0 0 分

3. 場所：訓練会場

市内 2 7 箇所（公立小学校 1 6 箇所・中学校 7 箇所・高等学校 3 箇所・東部体育館）

4. 主要演練項目

- 1) 市民及び地域による初動
- 2) 被害状況及び安否情報の集約
- 3) 避難所における受付及び生活空間の開設
- 4) 避難所における炊き出し
- 5) 個別課目による防災関連の基礎的対処能力の維持

5. 訓練参加依頼予定の関係機関・団体

国	陸上自衛隊第 1 空挺団第 3 普通科大隊、航空自衛隊中部高射群第 1 高射隊
県	県企業局船橋水道事務所、県葛南地域振興事務所、県警察習志野警察署
市	市健康福祉部、市企業局、市消防本部、市消防団
民間	N T T 東日本・南関東、東京電力パワーグリッド、日本大学生産工学部、医師会、歯科医師会、薬剤師会、助産師会、京葉地域獣医師会、アマチュア無線非常通信連絡会、タクシー協会、WOW! TOWN 幕張